



晴れ姿に未来をやどして 相馬市成人式 ～二十歳のつどい～

市成人式～二十歳のつどい～は1月12日、市民会館で行われ、二十歳の成人らが大人の自覚と責任を胸に、式に臨みました。

この特集では、当日の様子を写真で紹介します。
※詳細は26ページの「表紙のおはなし」に掲載しています。

皆さんの二十歳の晴れの舞台なので、その大事な機会を彩ることができるように、精いっぱい務めたいと思います。これからも変わらず、いろいろなことに挑戦する気持ちを忘れずに成長していきたいです。



田中愛梨さん

二十歳になっただけでいきなり大人になるわけではないので、だんだんと大人になっていけるように引き続き努力していきます。



佐藤楓也さん

式の開始直前、司会を務める成人代表の2人に意気込みと将来への抱負を聞きました。

司会者インタビュー



坂脇謙心さん

私は県内の大学で医療や保健衛生について学んでいます。子どものころから持っていた医療分野への憧れや、昨今まで猛威を振るっていた新型コロナウイルスに対する医療従事者の姿勢に心を打たれたことが大きなきっかけでした。私が高校生ときに、福島第一原子力発電所の見学や、政府や東京電力の関係者とお話しする機会をいただきました。そのような経験から地域医療・災害医療について学び、その学びや経験を福島、相馬の地に役立てることができるとような医療従事者になりたいと考えています。

私たち新成人は、これから未来を担っていく世代として、多くの期待や責任を背負っていくことになりま。しかし、その重みを感じつつも、希望に満ちた明るい未来を創り上げていくために、全力で努力していく覚悟です。これまでお世話になった方々への感謝や、相馬市とともに育った誇りを胸に刻み、歩んでいくことを誓います。

成人代表意見発表

※あいさつの一部を抜粋して掲載しています。

私はこの相馬から遠く離れた、大阪の地で日々を送っています。大学では商学部に属し、「ビジネス」という大きな基盤からアプローチし、社会に貢献できる人間となることを目標に日々研鑽を積んでおります。大阪の新しい生活環境に悩んだり、帰りたいと思ったこともありましたが、そのような中、家族や友人が話を聞いてくれたことに改めて感謝の念を抱いております。そして大阪でも素敵な人々に出会い、人は一人では生きていけないことを実感し、自分が支えられた分、周りの人たちを支えられる人間になりたいと思いました。私たちは成人として新たな一歩を踏み出しました。これから先の人生は、楽しいことだけでなく、悲しいこと、辛いことも待ち受けているでしょう。しかし、私たちはくじけず互いに日々切磋琢磨し、苦難を乗り越える術を、ここ相馬で培ってきました。自分や周りで支えてくれる人々を信じてこれから先の人生の苦難も乗り越えていきたいと思います。



竹島倭さん



当日の様子を、市公式 YouTube で紹介しています。

ぜひご覧ください。

